平成 22 年度　継続事務事業評価シート　事業類型 Ⅲ 整備事業　2次評価対象

	コード	名称	区分	コード	名称
事業名	154	産業廃棄物最終処分場周辺環境整備事業	会計	01	一般会計
			款	04	衛生費
			項	01	保健衛生費
基本施策	26	環境問題などに協働して取り組む	目	03	環境対策費
			細目	254	環境保全対策事業
行革大綱の重点事項番号			細々目	56	産業廃棄物最終処分場周辺環境整備事業
担当部課	コード 100200	名称 生活環境部環境政策課	担当者氏名	山下　豊	連絡先 20 － 9105 (内線)

事務事業の概要（Plan）

対象（誰を、何を）	産業廃棄物最終処分場の周辺地区　※対象件数
成果（どうする）	快適な生活環境を創出する。
根拠法令・要綱等	産業廃棄物最終処分場周辺環境整備補助金交付要領（県）
開始年度	平成 16 年度
終了年度	平成 年度
関連事業	
H21 事業内容	道路や水路などの改修、公園やスポーツ施設の整備を行った。 公園整備等　3件　生活道路・水路整備等　13件　防犯灯設置　3件
社会情勢の変化等	平成20年度、21年度において最終処分場周辺環境整備事業補助金として周辺地区に補助を行った。なお、この補助金事業は、21年度までとする。

整備内容（「施設の建設」「整備事業」のみ記入）

1 建設用地	
2 建設面積（延床面積）	
3 規模・構造	
4 総事業費	16,443 千円

運営体制（「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入）

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト（Do）

活動指標	指標名	単位	実績値 H20		実績値 H21		目標値 H22	目標値 H23
	事業実施件数	件	目標	8	目標	12	12	10
			実績	14	実績	19		
			目標		目標			
			実績		実績			

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値 H20		実績値 H21		目標値 H22	目標値 H23
	事業進捗率	毎年度事業が達成できているか	率	目標	100	目標	100	100	100
				実績	100	実績	100		
				目標		目標			
				実績		実績			

投入コスト		H20 決算	H21 決算	H22 当初予算	H23 当初要求
直接事業費計（A）		(千円) 16,443	(千円) 17,191	(千円) 22,456	(千円) 20,744
Aの財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	6,721	6,958	7,500	7,500
	地方債				
	その他	3,000	3,000	7,456	5,744
	一般財源	6,722	7,233	7,500	7,500
事業投入人件費（B）		0.5 人 3,600	0.5 人 3,600	0.3 人 2,160	0.3 人 2,160
フルコスト（A）＋（B）		20,043	20,791	24,616	22,904

事務事業の評価（Check）

	判断の基準（該当項目に○をつけてください）		備考欄（特記事項）
必要性	法律（条例は除く）で実施が義務付けられている事業		
	個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網（セーフティネット）を整備する事業	○	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者にも利益が及ぶ事業	○	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業		
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	○	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事		
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業 【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業 【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○	
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○	
	サービス水準や対象を見直す余地がある。		
達成度	当初設定した計画を 100% 実施している。 予算の繰越の有無 無 【予算の繰越がある場合、繰越の種別】		【計画に遅れが生じている場合、改善策】
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。		
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 【事業名】		
	受益者負担を求めることができる事業である。		
	全体コストにおける負担構成は適正である。		
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	花垣5地区からの改善要望を受けて事業を進めているが、小規模の要望事項が多いため、5地区それぞれよりも、花垣地区全体でまとめて要望してもらうよう働きかけていく。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 最終処分場の周辺地域においての生活基盤の整備を行なうため生活道路改良や側溝整備、公園整備等を実施した。

今後の方向性（Action）

担当課長氏名	山下　豊
事業の方向性	【方向性】 現状維持 【理由】 最終処分場周辺地域における住みよい環境づくりの基盤を図るため継続した支援が必要である。
現時点における課題、その他	個々の事業規模が小さい。事業着手が遅い。
課題、その他に対する改善策（いつまでに、何を、どうする）	事業規模については、花垣地区全体での事業規模になるよう指導する。 事業着手が遅い部分については、H22以降、担当課と協議を行い、ゆとりのある執行計画を立てるようにする。